

祈る安全願う大漁

7月28日に行われた羅賀みなと祭り。平井賀漁港内で大漁を願うたい込み、その後は弁天島で漁の安全を祈りました。写真は爽やかな潮風を受け、平井賀漁港へと帰る船団。



決意を胸に 新成人の笑顔



佐藤 珠永さん 田野畑 佐藤 結子さん 甲地
 畠山 静佳さん 羅賀 佐々木 瑞穂さん 切牛
 佐々木 郁子さん 尾肝要



長久保 諒輔さん 羅賀



熊谷 瀬奈さん 田代



熊谷 里生さん 菅窪



工藤 麻美さん 島越



小長根 翔也さん 机



中学校時代の恩師2人(左下)も加え記念撮影



和山さんが力強く「はたちの誓い」

のために精いっぱい努力する人間になることを念願します」と式辞。人生の先輩として自動車整備工場を営む似内誠さん(43)「菅窪君は、自らの経験を紹介しながら「小さな目標でもいいから目標を立て、歩んでく

式典は午前9時30分に開会。受け付けを済ませた新成人は、久しぶりに会う友人を見つけると「久しぶりー」「元気があった？」と声を掛け合い、近況を報告しあっていました。佐々木郁子さん「尾肝要(大学生・東京都在住)は「久しぶりにみんなに会えてうれしいです。元気な顔を見て、パワーをもらいました」と再会を喜んでいました。式典で上机莞治村長は「心身共に健康で、それぞれの立場で信頼され役立つ存在として、知性と実行力を磨いてください。願いや夢を実現す

第51回田野畑村成人式 37人が誓いを胸に 大人への一歩踏み出す

第51回村成人式を8月15日、アズビイホールで開催しました。式には新成人37人(男性14人、女性23人)のうち31人が出席。参列した村議会議員や教育委員に見守られ、大人への第一歩を踏み出しました。



今日の感動を思い出の1枚に

ください。そして、家族や友人を大切にしてください」と新成人にエールを送りました。新成人を代表して和山哲大さん(真木沢(大学生・北海道在住))は「二十歳を迎えた喜びと期待がある反面、厳しい社会にどう対応していくたら良いかという不安もあります。田野畑で学んだ経験、育んできた友情を支えに、前へ進んでいきたい思います」と、はたちの誓い。地域に貢献できる力を養うことを誓いました。式典終了後は全員で記念撮影。その後は机漁港に移動してサッパ船アドベンチャーズに乗船。友人との思い出話や近況報告で盛り上がりながら、村の大自然を満喫しました。



「はたちの船」はサッパ船で爽やかに

廣内 大地さん 羅賀

早野 藍さん 島越

三浦 祥太さん 羅賀

小松山 美穂さん 田野畑

畠山 大地さん 西和野

佐藤 果歩さん 羅賀

鈴木 悠介さん 島越



畠山 大志さん 島越



13年でこんなに成長
 広報で長年撮りためた写真。小学校入学時の写真と比べてみました



畠山 宣也さん 真木沢

シートベルト忘れていませんか

平成20年6月から、全ての座席でのシートベルト着用が義務化されました。それから4年以上が過ぎましたが、後部座席のシートベルト着用はなかなか進まないのが現状です。皆さんはシートベルト、着用していますか？

命を守ったシートベルト

交通事故
被害者の手記

4月の早朝、出発が早かったため居眠りをしたのでしようか。A市からB市に向かう国道を走行中、私は道路外に逸脱し、30メートル崖下に転落しました。車が3〜4回転し、川底に落ちて逆さまで止まりました。シートベルトをしていたおかげで、座席から放り出されることもなく、宙ぶりの状態で1時間ほど気を失っていました。

川の水の冷たさで気が付き、慌てていたためなかなか外れないシートベルトをやっとの思いで外し、車のドアが曲がっていましたが何とか開けて脱出。どのように登ったのか覚えていませんが、30メートルの崖を無我夢中で登り、通りかかった車で病院に運ばれ入院しました。幸い打撲だけで済み、シートベルトの効果を身にしみて感じました。

あのとき、もしシートベルトを着用していなければ死亡していたかもしれません。思い出すたびに恐ろしく、体が硬直してしまいます。

これからは、命を守ってくれたシートベルトの大切さを決して忘れず、疲れたら必ず休憩をとるなど、慎重な運転を心掛けたいと思います。他のドライバーの方にも、私の体験からシートベルトの大切さを分かっていたいただきたいと思います。

(北海道交通安全協会発行・癒されぬ輪禍パートIIより抜粋)

シートベルトの着用率 後部座席は29・7%

昨年10月に警察庁と日本自動車連盟が実施した「シートベルト着用状況全国調査2011」。この調査結果によると、岩手県の一般道路でのシートベルト着用率は、運転席が99・4パーセント、助手席が95・0パーセントと、100パーセントではありませんでしたが高い割合でした。しかし、後部座席は29・7パーセントと3割にも満たない低い割合。全国平均を3・5ポイント下回る結果となりました。

全座席のシートベルト なぜ着用が必要なの

車が時速60キロで走行している場合、車内の人も60キロで移動していることとなります。この状態で車が衝突した場合、車の速度は一瞬でゼロ。しかし、車内の人がシートベルトをしていなければ、ほぼ同じ速度で前方に進み続け、ダッシュボードや前の座席にたたきつ

けられてしまいます。

この衝撃から車内の人を守ることができるのはシートベルトだけです。しかし、後部座席のシートベルト着用は、なかなか皆さんに浸透しません。

後部座席シートベルト 着用しない危険性は

後部座席の人がシートベルトをしていなかった場合、次の三つの危険性があります。

- 1 本人が致命傷を負う：事故の衝撃はさまざま、前席や天井、ドアなどにたたきつけられます。仮に時速60キロの速度で壁などに衝突した場合、高さ14メートルのビルから落ちるのと同程度の衝撃。走行している車両士の衝突ではさらに激しくなります
- 2 車外放出：衝突が激しい場合、車外に放出されることがあります。堅いアスファルトにたたきつけられたり、後続車両にひかれたりする危険もあります
- 3 同乗者に致命傷を負わせる：衝突の

勢いで後部座席の人が前の座席にぶつかると、前席の人はシートとエアバッグに挟まれ、頭に致命傷を負うことがあります。後部座席の人がシートベルトをすることで、前席の人の命を守ることにもつながります

交通死亡事故ゼロ期間 2000日を迎える

8月22日、村の交通死亡事故ゼロ期間が2000日を迎えました。現在、県内一長い期間です。しかし、交通死亡事故は約5年半発生していませんが、物損事故や人身事故は発生。いつ誰が交通事故を起こしたり、巻き込まれたりしてもおかしくないといえます。

シートベルト着用に必要な時間は、ほんの数秒――。

この数秒を怠り、もしも交通事故に遭ったらどうなるでしょうか。大けがをしたり、大切な命を失ったりと、一生の後悔につながるかもしれません。車に乗った時のほんの数秒。大切な命を守る時間に使いませんか。

放射性物質濃度検査 全箇所が目安以下

村は、児童館や小中学校、各公共施設、観光地の放射性物質濃度の検査を毎月行っています。7月に行った検査では、全箇所でも文部科学省が示す目安（1時間あたり1マイクロシーベルト）以下となりました。昨年10月からこれまで行ってきた検査で、放射性物質が目安を超えたことはありません。

農産物の放射性物質濃度の検査は県が行っています。これまで、生シイタケ、干しシイタケ、菌床シイタケ、牧草などを検査。いずれも測定結果は「不検出」または「基準値以下」でした。今後も、結果は本紙でお知らせします。

◆問い合わせ先

各施設…生活環境課

☎34-2114 内線20)

農産物…産業振興課

☎34-2111 内線72・73)

■検査結果（測定日・7月27日、31日）

測定場所	平均測定値 (マイクロシーベルト/時)
田野畑小学校	0.063
田野畑中学校	0.051
たのはた児童館	0.050
若桐保育園	0.053
役場	0.068
アズビィ楽習センター	0.053
村宮野球場	0.057
思惟大橋公園	0.047
北山崎園地	0.059
山海ろばたハウス	0.091
鶉の巣断崖園地	0.063

※測定結果は、文部科学省による校庭、園庭の空間線量率の目安（1時間あたり1マイクロシーベルト）を下回っています

村は、災害復興計画を作成し、復興へ向けての事業を進めています。復興の最重要課題といえるのは住宅再建。被災した皆さんの多くは現在、仮設住宅などでの不便な生活を強いられています。

大切な人命を二度と失わないためには、津波浸水区域外への住宅建築が不可欠。村はこれまで、被災した皆さんと高台移転の話し合いを重ねてきました。そして、高台移転を希望している皆さんからの聞き取り調査を行い、4カ所を移転地として決定しました。

移転先には、自力で住宅再建が難しい世帯なども移転できるように、災害公営住宅を建築。将来的な払い下げも考慮し、集合住宅ではなく一戸建て住宅を建設します。

現在、田野畑野場（通称・黒澤山）では埋蔵文化財の発掘調査を実施中。9月中には全移転箇所での木の伐採を進める予定です。移転地造成や災害公営住宅建築は、来年度中の完了を目指し、1日でも早く完了するよう工事を進めていきます。

◆問い合わせ先：復興対策課（☎34-2111 内線65）

津波で被災した皆さんの 高台移転先の造成に着手

■高台移転先の状況（平成24年7月末現在）

移転先	自力再建	災害公営住宅	計
田野畑野場（通称・黒澤山）	11	21	32
羅賀（通称・記念林）	6	7	13
切牛（通称・白池峠）	28	23	51
松前沢奥	8	10	18



埋蔵文化財の発掘調査が進む田野畑野場（黒澤山）の様子



早期の全線開通を願い、上机村長や各自治協議会長などが整備予定ルートの用地幅くいを打ち込んだ

三陸沿岸道路 大芦－萩牛間

用地幅くい設置し、用地取得や設計が本格化

東日本大震災からの「復興道路」として整備が進められている三陸沿岸道路。本村の大芦から萩牛間の用地幅くい設置式が8月1日、浜岩泉公民館前で行われました。村や三陸国道事務所など関係者約30人が出席。用地の取得や設計が進められ、事業用地を確定する作業が本格的にスタートすることになりました。

三陸国道事務所の工藤栄吉所長は「これまで、中心くいの設置や説明会などを行い、今日を迎えた。三陸復興のためには、1日も早い全線供用開始が必要で、用地調査と買収が始まるこれからが本番。復興のためにも一体となり全力を尽くす」とあいさつ。上机荒治村長は「非常にスピード感がある工事で驚いている。この道路整備は、まさしく村の復興を引っ張っていくもの」と1日でも早い全線開通を願いました。

上机村長をはじめ、各自治協議会長など代表11人が木づちで力強く用地幅くいを打ち込むと、会場は祝福の拍手に包まれました。

本村を縦断する三陸沿岸道路は、中野バイパスや、現在工事が進められている尾肝要道路と接続する自動車専用道路。村中心部や尾肝要地区にインターチェンジも整備される予定で、7年後の全線開通を目指して工事が進められます。



田野畑村民文化展を開催

作品を募集します

村民芸術の祭典「第39回村民文化展」を11月3日から6日まで、アズビイ学習センターで開催します。教育委員会は、村民文化展に出展する作品を募集します。日頃の創作活動の成果を文化展で発表してみませんか。

- ◆期間：11月3日(土)～6日(火)
- ◆場所：アズビイ学習センター
- ◆募集する作品

- ① 絵画、書道・書写、写真、工芸・工芸、被服・手芸、園芸の6部門
- ② 創作作品で未発表の作品
- ③ 団体出展の場合は、作品数を



自分の作品に思わず手が伸びる



昨年度の文化展の様子

連絡してください

- ◆応募資格：村内に居住する人、村出身者、村内事業所などに勤務する人

◆出展方法

- ① 一般の部：10月27日(土)から29日(月)までの午前9時から午後5時までに、作品をアズビイ学習センターに搬入してください。受付日に搬入できない、運搬が困難な場合は、教育委員会に連絡してください
- ② 小中学生の部：各学校を通じての出展になります

- ◆応募・問い合わせ先：教育委員会 (☎ 34-22226)

マレットゴルフを楽しもう

村民大会を開催します

平成24年度村民マレットゴルフ大会を9月23日(日)、球場脇マレットゴルフ場で開催します。

この大会は、マレットゴルフを通して村民の交流の促進と、健康増進を目的に開催している大会です。

教育委員会は現在、東日本大震災で流出した明戸地区の村マレットゴルフ場の復旧を進めています。完成は26年春の予定。それまでの間、皆さんにマレットゴルフを楽しんでいただこうと、村営球場周辺に手作りの仮設コース(18ホール)を整備しました。今年の大회는、このコースを会場に、2年ぶりに開催します。各地区体育会に窓口になっています。奮って参加してください。

- ◆日時：9月23日(日)
- ◆受付：午前7時30分～
- ◆開会式：8時10分～
- ◆競技：8時30分～
- ◆閉会式：11時30分～

- ◆場所：球場脇マレットゴルフ場(村営球場の周辺)
- ◆競技部門・定員
 - ・小学生の部：12人
 - ・中学生の部：12人
 - ・一般の部：60人

- ◆問い合わせ先：教育委員会 (☎ 34-22226)

復興の田野畑路を駆け抜ける 第41回駅伝競走大会

- ◆日時…10月21日(日) 午前9時30分スタート
- ◆コース…旧浜岩泉児童館付近スタート→切牛→島越→羅賀→明戸ゴール

沿道でのご声援をお願いします



北山崎で思い出の1枚。「もう仲良しになりました」



民俗資料館では三閉伊一揆の slides を真剣に鑑賞



「来年は深谷で会おうね」



生きているウニに大興奮



あしたはサツパ船。「晴れるかなあ」

友好都市・埼玉県深谷市と本村の小学生交流事業が8月6日から9日までの3泊4日の日程で行われました。この交流は平成10年から始まったもので、今年で15回目。隔年でそれぞれがお互いの市村を訪れて交流している、今年の本村に深谷市の5、6年生30人が訪れました。本村からは5、6年生19人が参加。北山地区の自然大学校で寝食を共にしながら、北山崎散策、津波学習などを通して交流。畠山神社では、深谷市と田野畑村の交流のきっかけとなった「畠山重忠」について理解を深め、民俗資料館では「三閉伊一揆」について学びました。最初は緊張気味だった児童たちも、さまざまな体験を通して仲良くなり、会話が弾み笑顔があふれていました。

櫻井尚人君(明戸小6年)は「田野畑は海がとてもきれいだ。一番楽しかったのは、スリル満点のサツパ船。深谷の子とも田野畑の子とも仲良くなり、友達もたくさんできました」と瞳を輝かせていました。児童たちは4日間の交流で友好を深め、忘れられない夏の思い出をつくりました。

田野畑村

友好深めた小学生交流事業

ぼくらの暑い夏 フォトメモリー

埼玉県深谷市



初めてのサツパ船乗船。「行ってきまーす」



自然の迫りに圧倒され、開いた口がふさがらない



子どもたちの元気な呼び掛けでドライバーも笑顔に

事故防止の願い込め呼び掛け

村、交通安全協会田野畑支会、交通安全母の会、老人クラブ連合会などの会員約37人は8月1日、道の駅たのはたで交通安全キャンペーンを実施しました。この日は、夏の交通事故防止県民運動の初日。宮古方面へ向かう車1台1台のドライバーにチラシや牛乳を配りながら交通安全を呼び掛けました。両親と参加した小松山優心ちゃん(5)と煌希君(3)=田野畑=は「安全運転をお願いします」と元気に呼び掛けながらドライバーに牛乳を手渡していました。

全国の舞台上で児童が菅笠鹿踊

8月18日に東京都で開催された「第14回全国子ども民俗芸能大会」。全国から8団体が出演した大会に、田野畑小の菅笠鹿踊保存会子ども踊組(田野畑地区5・6年生)が出演し、大会の取りを飾りました。大会に向けて大人のメンバーから指導を受け、約4カ月間練習を重ねてきた17人。会場を埋め尽くした観客の前で堂々とした舞を披露しました。鎌形遼君(6年)は「緊張したけれどもうまく舞えた。鹿踊がもっと好きになったから続けたい」と話していました。



勇壮な舞を披露し大会の取りを飾った(神奈川県・太田明さん提供)

青森県で5年生がねぶた体験

田野畑小の5年生41人は、8月1日から3日まで青森県藤崎町などでふるさと体験学習をしました。昨年に引き続き藤崎町が招待してくれたもの。児童は地元小学生と一緒にねぶた絵色付け体験をしたほか、田舎館村の田んぼアートや弘前ねぶたを見学。2日の夜は藤崎夏まつりのねぶた合同運行に参加し、元気な掛け声を上げてねぶたを引きました。藤島蒼君は「ねぶたを見たのは初めて。声を掛けながら引くことができ楽しかった」と声を弾ませていました。



「ラーッセラッセ、ラーッセラ」と元気な掛け声を上げてねぶたを引いた

日体大の学生が地域で交流会

日本体育大学の「社会体育研究会」が8月21日から26日まで、村内で夏合宿を行い、地域住民とスポーツなどを通じて交流しました。22日は千丈公民館で手遊びなどで交流。うまくできてもできなくてもみんなが笑顔で、公民館は笑い声に包まれました。奥地トヨノさん(73)は「手遊びは少し難しかったけど、学生と一緒に笑って楽しかった」と笑顔。研究会の高橋まいさん(3年)は「楽しんでくれる姿を見られてうれしい」と参加者の肩をマッサージしていました。



笑顔で手遊びを楽しむ千丈地区の皆さんと社会体育研究会のメンバー



一投一打にベンチや観客から声援が送られた

盆の野球場に快音と歓声響く

第45回議長杯争奪野球大会が8月15日、村営野球場で開催されました。大会には羅賀や島越の地域で結成したチームや同級生チームなど6チームが参加。真剣な中にも笑顔あふれる熱戦を繰り広げました。島越のチーム「岬」には2人の女性も参加。決勝で惜しくも「のんべーず」に敗れましたが、大会に華を添えました。工藤美咲さん(24)=島越=は「自分はノーヒットだったが、仮設住宅のみんなと一緒にプレーできて楽しかった」と笑顔を見せていました。

思惟大橋公園に歌声響き渡る

個人ボランティア集団「ブルー・シート」(角田四郎代表)と2人組音楽ユニット「山とケ」が主催する音楽祭「ソングオブヘブン」が8月17~19日、思惟大橋コミュニティ公園で開かれました。今年で6回目を迎えた音楽祭には東北、東京、大阪などから約25組のミュージシャンなどが参加。村に熱い歌声を響かせました。「山とケ」のケーナさんは「この場所で音楽を楽しむ姿を見て、皆さんにも楽しんでほしい。これからも続けます」と話していました。



Laugh×Rough(らふらふ)のバンド演奏で盛り上がる会場

お知らせ

人口と世帯		火災	
8月1日現在。()は前月比		(7月21日～8月20日)	
人口	3,848人(-3)	火災の【今月】	0件
男	1,894人(-3)	発生件数【今年】	3件
女	1,954人(±0)	無火災の連続記録	
世帯	1,438世帯(-3)	(8月20日現在)	170日

村総合防災訓練に参加を
 村は、地震や津波などの災害から大切な命を守る方法を学ぶため、総合防災訓練を実施します。多数参加してください。
◆日時…9月30日(日)
 午前8時～11時30分
◆主会場…田野畑中学校
◆主な内容…津波避難訓練、搬送訓練、初期消火訓練、ボランティア活動訓練など
◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線11)

子育て講演会を開催します
 村地域子育て支援センターでは、「食で引き出す我が子の隠れた頭脳」と題して子育て講演会を開催します。
◆日時…9月20日(木)
 午後1時30分～2時30分
◆場所…アズビィ楽習センター
◆参加料…無料
◆講師…医師・シニア野菜ソムリエ 宮田恵さん
◆申込期限…9月14日(金)
◆その他…託児室も用意しています。希望する人は申し込んでください
◆申し込み・問い合わせ先…村地域子育て支援センター (☎37-3577)

防災行政無線の試験放送を実施
 全国一斉訓練のため、防災行政無線の試験放送を行います。
◆日時…9月12日(水) 午前10時ごろ、10時30分ごろ
 ※災害発生などで試験放送を中止する場合があります
◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線12)

日本脳炎予防接種の期間緩和
 平成7年6月1日から19年4月1日生まれの人は、日本脳炎予防接種を全て受けていない場合があります(通常4回)。母子手帳の確認をお願いします。未接種の場合、20歳前までは接種を受けられます。平成24年度は、通常の対象者の3・4歳児に加え、小学2・3・4年生に案内をしています。この年齢以下の人には来年度以降、順次案内します。
◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

住宅の補修や新築に融資
 大震災で被害を受けた住宅を補修、建設や購入する場合、融資を受けることができます。
◆補修資金融資…10万円以上の被害を受け、罹災証明を受けた人が住宅を補修する場合
◆建設・購入資金融資…半壊以上の被害を受け、罹災証明を受けた人が新築や購入する場合
◆問い合わせ先…住宅金融支援機構専用ダイヤル(☎0120-086-353)

辞職坂ウォーキングを開催
 辞職坂を地元ガイドと一緒に歩く「辞職坂ウォーキング」を開催します。歩き終えた後は、おいしい汁とおにぎりで昼食。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。
◆日時…9月8日(土)
 午前10時～午後1時
◆集合場所…道の駅たのはた
◆参加料…無料
◆定員…40人
◆対象…小学生以上の健康な人(小学生は保護者同伴のこと)
◆持ち物…動きやすい服装・靴、水筒、帽子、雨具
◆申込期限…9月6日(木)
◆申し込み・問い合わせ先…体験村・たのはたネットワーク (☎37-1211、FAX33-3355)

加算支援金の申請受付中
 東日本大震災で住宅に被害を受けた世帯の再建方法に応じて支給する「被災者生活再建支援金(加算支援金)」の申請を受け付けています。
◆対象…大震災で住宅が全壊、大規模半壊し、基礎支援金を受給している世帯
◆申請期限…平成30年4月10日(当初より4年延長されました)
◆申請方法…住宅再建の手続きをした世帯は、申請書に次の書類を添付して提出
 ①建築・補修…工事請負契約書
 ②購入…売買契約書(建物)
 ③賃借…建物賃貸借契約書(公営住宅を除く)
◆申請・問い合わせ先…復興対策課 (☎34-2111 内線68)

災害援護資金を貸し付けます
 大震災で世帯主が負傷した世帯や住居、家財、自家用車に被害を受けた世帯に対し、生活の立て直しに必要な資金の貸し付けを行っています。
◆対象世帯…①震災日に村内に住居登録していて、被災した世帯②村民税における世帯の総所得額が規定額未満の世帯
◆貸付限度額…被災の状況により150万円～350万円
◆金利
 ・保証人有り…無利子
 ・保証人無し…年1.5%(据置期間中は無利子)
◆償還期間…13年(据置6年)
◆償還方法…年賦または半年賦
◆提出書類…借入申込書(役場で配布)、保証人の源泉徴収票(保証人有りの場合)、医師の診断書(世帯主が負傷した場合)
◆申込期限…平成30年3月31日
◆申し込み・問い合わせ先…復興対策課 (☎34-2111 内線68)

くらしのなんでも相談会を開催
 仕事、お金、病気、人間関係や法律など生活の困りごとに無料でお答えします。村外の専門家が対応し、秘密は守られますので、安心して相談ください。
◆日時…9月13日(木)、27日(木)
 午前10時～正午
◆場所…村保健センター
◆申込期限…開催日の前日(申し込まなくても相談できますが、申込者優先となります)
◆申し込み・問い合わせ先…あすからのくらし相談室・宮古(☎0193-64-2400)、保健福祉課(☎33-3102)

尾肝要トンネル掘削状況
 (8月20日現在)
 全長 2,736m
 掘削距離 1,331m(48.6%)

自衛隊で学生を募集
◆種目・受験資格
 ①防衛大学校学生…21才未満の男女
 ②防衛医科大学校学生…21歳未満の男女
 ③看護学生…24歳未満の男女
 ※いずれの種目も高校卒業以上または卒業見込みの人
◆申込期限…10月1日(月)
◆試験日・試験会場
 ①11月10日(土)～11日(日)・花巻市、滝沢村
 ②10月27日(土)～28日(日)・盛岡市
 ③10月20日(土)・山田町
◆申し込み・問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所 (☎0193-63-3881)

平成24年度
村復興祈念祭
10月13日(土)・14日(日)
 アズビィ特設会場で開催
 ※詳細は広報たのはた10月号

ガラス瓶を集めています
 村復興祈念祭・中夜祭で使用する、キャンドルアート用のガラス瓶を集めています。家庭などで不用になった瓶を提供してください。
◆瓶の形状など…口径4.5～7センチ、高さ6～8センチで無色透明な瓶(ジャムや鮭フレークなどの瓶)
 ※ラベルをはがし、きれいに洗ってください
◆提供方法…役場窓口、診療所、アズビィ楽習センター、小中学校などに設置してある回収箱に入れてください
◆問い合わせ先…村復興祈念祭実行委員会事務局(役場復興対策課 ☎34-2111 内線68)

予防接種を無料にしています
 村の皆さんが国保田野畑村診療所で受ける次の予防接種費用を無料にしています。

おたふくかぜ・水痘
◆対象…満1歳以上就学前までの未接種・未罹患者
◆接種日時…毎週火曜日(祝日除く)の午後4時～4時30分

高齢者用肺炎球菌
◆対象…満65歳以上の慢性疾患患者で、過去5年以内に予防接種を受けていない人
◆接種日時…月～金曜日(ただし水曜日午後と祝日除く)の午前9時～11時30分、午後2時30分～4時

共通事項
◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約
◆その他…無料は1人1回
◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

9月9日は「救急の日」
 もし目の前で家族や同僚が倒れたら、あなたは何をしてあげられますか? いざという時、そばに居合わせた人がすぐに応急手当てをすることがとても大切です。尊い命を救うため、応急手当てを覚えましょう。消防田野畑分署は、応急手当て講習の申し込みを受け付けています。
◆受講料…無料
◆申し込み・問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（9月20日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 8月15日に開催した成人式。出席した新成人は何人？
A) 37人
B) 31人

Q2 8月27日に2,000日を迎えたのは？
A) 交通事故ゼロ日数
B) 交通死亡事故ゼロ日数

Q3 8月15日に行われた野球大会の優勝チームは？
A) 岬
B) のんべーず

■前号(8月号)の正解
Q1→B、Q2→B、Q3→A

■当選者(敬称略)
上山明美(田野畑)、熊谷弥生(和野)、菅原正幸(菅窪)、中村志会之助(埼玉県)、和田宣子(千葉県)

おめでた おくやみ

[平成24年7月届け出分]
(一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
菊地 爽那(さわな)くん
正次・直恵 沼 袋

■安らかに ～お悔やみ～
太 田 達 男(79) 北 山
佐 藤 秀 元(93) 甲 地
畠 山 ツ ヤ(91) 羅 賀
中 村 由 松(85) 明 戸
畠 山 ミ ツ(94) 島 越
大 澤 清 吉(88) 羅 賀

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口へ申し出て下さい

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

2210万1,406円 (8月20日現在)

398件(村内94件、県内124件、県外180件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：9月10日(月)～10月1日(月)

月 日	行 事	場 所	時 間	問 い 合 せ 先
9月10日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
15日(土)	診療所休診			診療所
19日(水)	乳児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
20日(木)	子育て講演会	アズビィ楽習センター	13:30～14:30	地域子育て支援センター(☎37-3577)
23日(日)	村民マレットゴルフ大会	村営球場脇仮設コース	9:00～14:00	教育委員会
24日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
30日(日)	村総合防災訓練	田野畑中学校他	8:00～11:30	総務課(内線11)
10月1日(月)	国保税4期納期限			税務課(内線31・32)
	後期高齢者医療保険料3期・介護保険料4期納期限			生活環境課(内線22・23)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：9月19日(水)～20日(木)

◆はまぎくコース(机・北山方面)

月 日	場 所	時 間
9月19日(水)	グループホームつくえ付近	9:40～10:00
	北山地区総合センター	10:10～10:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月 日	場 所	時 間
9月19日(水)	佐藤進氏宅付近	11:05～11:20
	望洋館	11:30～11:45

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月 日	場 所	時 間
9月20日(木)	産直プラザ尾肝要	9:45～10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10～10:40
	甲地公民館	10:50～11:05

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

はまなす 掲 示 板



佐藤 香子ちゃん(1歳3カ月)
剛さん・和子さん=田野畑=

お母さんからのひとこと

いつもニコニコで機嫌な子。じいちゃんとはあちゃんが大好きで、姿が見えないと名前を呼びながら探しています。穏やかに優しい子に育ってね。

わが家の
アイドル



畠山 心宏くん(1歳3カ月)
貴さん・美帆さん=田野畑=

お母さんからのひとこと

ちょうど歩き始めたところで、楽しそうに5歩、6歩と歩いています。人見知りせず、誰にでもだっこをおねだり。元気でたくましい子に育ってね。



編集ごぼれ話

平成24年も9月。お盆を過ぎたのに、まだまだ暑い日が続きますね。朝晩はだいぶ涼しくなりましたが、仕事でも就寝中も汗が止まりません。熱中症はこれからの季節も引き続き注意が必要です。水分と塩分補給を忘れずに▼ロンドンオリンピック、皆さん観戦しましたか？時差があるため、見たい競技が真夜中の放送で、寝不足になった人も多いのではないのでしょうか。寝不足でも次の日の仕事を頑張る姿に感動をもらったからかもしれません。団体競技の活躍が目立った今大会。卓球バドミントン、サッカー、バレーボール、競泳メドレーリレー…。力を合わせて戦う姿は、本当に大きな感動を与えてくれました。選手の皆さん、ありがとうございました。そしてお疲れさまでした▼9月は小学校陸上や中学校新人戦、競技会場で感動をもらい、その感動を広報で皆さんに伝えられたらと思います。暑さに負けず、頑張るぞ！
(政策推進課 佐々木和也)



③



②



①



⑤



④



⑥



⑦



①青く澄んだ空に映える大漁旗 ②力を合わせてみこしを担ぎ
地域内や仮設団地を回った ③④弁天島に向かい漁の安全と大
漁を祈願 ⑤⑥中学生や地域の皆さんが漁船の船首で大漁うた
い込みを舞った ⑦大漁うたい込みの準備に励む地域の皆さん